

福祉教育推進委員会では・・・

地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、町会・自治会、学校関係、福祉施設、ボランティア・障害者団体との連携・協働により、多摩区内での福祉教育の普及・推進に向けた様々な活動を行っています。

●セミナーの開催●

地域での福祉教育に関する理解者及び支援者を増やすことを目的に、地域に向けた福祉啓発のための、セミナーの企画・運営を行っています。



地域教育をサポート

●福祉教育ハンドブックの作成●

福祉団体の情報や福祉学習の実施例等を掲載した、福祉の授業や講座等を企画する際の参考資料となるハンドブックの作成を行っています。



学校教育をサポート

●親子参加講座の開催●

子どもたちが学校で行った福祉学習の学びを家庭で受け止めることを目的に、保護者を対象とした福祉講座の企画・運営・支援を行っています



家庭教育をサポート

社会福祉協議会は、地域で暮らす全ての人々が幸せに安心して暮らせるようになるにはどうしたらいいか、1人や1つの団体では解決できない問題などについて、様々な人・団体が集まって話し合い、お互いに支え合い、助け合いながら暮らせるまちづくりを進める民間の福祉団体です。
～「社協」は、社会福祉協議会の略称です～



社会福祉法人 川崎市多摩区社会福祉協議会

〒214-0014 川崎市多摩区登戸 1763
ライフガーデン向ヶ丘2階 福祉パルたま内

TEL : 044-935-5500 FAX : 044-911-8119

E-mail : tama@csw-kawasaki.or.jp

<http://www.kawasaki-shakyo.jp/tama/>

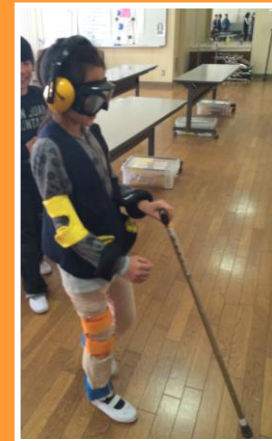


社会福祉法人 川崎市多摩区社会福祉協議会 福祉教育推進委員会



福祉教育推進委員会は、多摩区内で実施する

福祉の学習のサポート をしています。



福祉の学習・講座の企画で困ったときは・・・

社会福祉法人 川崎市多摩区社会福祉協議会
福祉教育担当までご相談ください！

授業・講座の企画、お手伝いします！

福祉教育相談

福祉教育を行いたいけど、どのような内容で行えばいいのかわからない・・・

福祉ってなんだか難しそう・・・。
そんなときは、多摩区社会福祉協議会にご相談ください！

様々な視点から福祉を学べる講座の企画及び調整のお手伝いをさせていただきます！！



企画内容についての相談

どのようなテーマがあるのか、どのような講師がいるのか 他

講師の紹介及び調整

民生委員・児童委員、福祉専門職、障害当事者、学識経験者 他

各種福祉用具の貸出し

車いす、車いす用段差セット、高齢者疑似体験セット、点字器、白杖、妊婦体験セット



開催希望日の概ね2か月前までに、福祉教育担当までご相談ください。

講座の一例は「プログラム例」をご参照ください。

社会福祉法人 川崎市多摩区社会福祉協議会
多摩区福祉教育推進委員会 福祉教育担当

☎044-935-5500

プログラム例

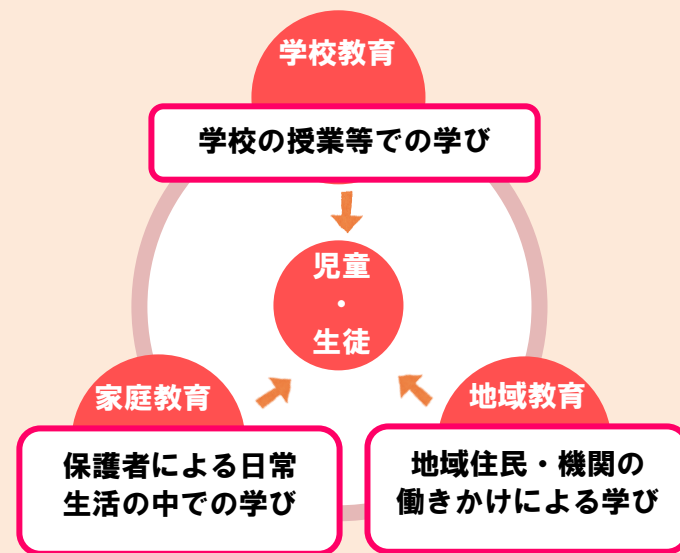
| | | |
|---|--|--|
| 1 | アイマスク・白杖を使ってみよう！ 視覚障害により困ることやどのようなサポートがあるかを知り、障害に対する理解を深めることができます。 | |
| 2 | 高齢者疑似体験 普段の暮らしでの気づきを促し、高齢者への配慮など、これからの行動についてを考えるきっかけとなります。 | |
| 3 | 手話を学ぼう！ 言葉と同じコミュニケーション方法の1つとして、実際に「手話」を体験しながら学びます。 | |
| 4 | 点字に触れてみよう！ 視覚障害により困ることやどのようなサポートがあるかを知り、障害に対する理解を深めます。 | |
| 5 | 車椅子を使ってみよう 車椅子の利用者の話を聞き、車椅子の操作を体験することにより、車椅子を利用する方の気持ち、接する上での注意事項やバリアフリーの大切さを知ることができます。 | |
| 6 | 妊婦体験・赤ちゃんふれあい体験 生命の尊さ、大切さを感じ、親から愛情を持って育てられたことを理解することができます。 | |

福祉教育って何？

福祉教育は、一人ひとりが地域の福祉問題に気づき、共有し、その解決に向けて協働していく、気づきと学びのプロセスです。

このプロセスは、地域福祉を推進していくために重要なものであり、「子どもの豊かな成長」と「地域福祉の推進」という2つの側面があります。

子どもたちの福祉教育を支える3つの柱



| | |
|------|--|
| 学校教育 | 総合的な学習の時間での福祉学習により、身近な福祉について学び、生活の中で「気づき・考え・行動」するきっかけが作られます。 |
| 家庭教育 | 子どもが学校で行った福祉学習の学びを生活の中で受け止め、保護者が言葉を重ね合わせることで、学びの重ね合わせが行われます。 |
| 地域教育 | 地域の様々な人・機関との出会いにより、子どもの人生観・価値観の変化の機会や自らの地域に関心を持つきっかけが作られます。 |

